

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表日：2025年2月28日

事業所名

ゆめなーる稲沢教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		療育的な訓練をする時は、個別に行えるよう空いている部屋で行っている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		日々の職員は適切であるが、特性によって個々での関わりが十分必要ある子には、職員の人数の配置が必要。	会社として、常勤正社員は基準人員の倍以上の配置を基準にしております。この状況を維持します。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		個々に当日のスケジュールを掲示して、見てわかるようにしている。 事故を未然に防ぐ為に、家具の角はカバーをしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日丁寧な掃除を心掛けています。 集団活動などの十分なスペースが必要なときは、机・椅子を壁によせて活動をしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		振り返りや改善案を全員が出せるようにしている。	勤務時間の関係もあるが、その日の業務後など話せる時間を設けるようにする。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケート結果に対して共有し改善につなげている。	毎年アンケートから改善をしてきています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページのお知らせ欄に公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎月のWEB研修は全員月内に完遂している。 外部の研修内容はミーティング時に報告を受けている。	必須研修は抜け漏れがないように、WEBにて実施。外部研修を多く取り入れて職員の質の向上に努めます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメントが特に必要な子に日々行っていけるようにしていく。 半年に一度のモニタリングで、保護者との話し合いを密に行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		ICTツールの活用も行っている。 毎日のミーティングにて随時事例検討を行っている。	コミュニケーションを活発にし、PDCAを早めることを意識して活動しております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		全員で支援計画書を確認している。 一人一人の特性やニーズにあわせた活動をするよう意識している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		ミーティング時に特性に合った支援を考えている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもの特性によって固定化しないよう、意見を出し合っている。 利用者によってプログラムを組んでいる。 今までに取り組んだものも少しずつ内容を変化させて取り組んでいる。	今まで通り個別と全体に分けてプログラムを組んでいきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		一日の流れをミーティング時に密に設定しており、集団活動をする時間や、個別の活動内容を職員全員で考えて、共有している。 状況に応じて個別と集団をバランス良く組み合わせ作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝のミーティング時に必ず行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		特に問題があった日には、その日の振り返りを行うようにする必要がある。 毎日のミーティングで、ヒヤリ等の共有だけでなく子どもの成長した面なども共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当しない	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当しない	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		送迎時に状況の確認はしている。	しっかりとコミュニケーションをとり情報共有していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			現状は、担当者会議時のみで対応しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		県・市の福祉課、相談支援事業所と連携している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			市役所・社会福祉協議会の連絡会には全員が順番で参加できるようにしています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時、連絡帳などで共通理解をしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		ご自宅での対応の仕方など、アドバイスを行っている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に丁寧に行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		モニタリング時にお悩み事をしっかりと聞き取り、支援につなげている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者からの相談・申し入れについては職員間のグループLINEにて共有、周知をしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		社外持ち出し禁止。鍵付き書庫にて管理している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		連絡ノート、保護者とのLINEにて相互の意思疎通を行っている。 随時電話や送迎時にも対応している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルの周知と研修を行っている。	
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練や防災の訓練を行っている。 防犯や感染症対策は月間活動で行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約時に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に確認している。 アレルギーのお子さま用のおやつを別に用意している。	職員全員が把握できるように、おやつなどの食べ物の際に確認できるようにしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		委員会や研修にておこなっている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		委員会や研修にておこなっている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		契約時に説明し、必要がある場合にしっかりと説明した上で、同意の署名を得ている。	